



如月（二月）のセールのご案内

日時：令和6年 2月 16日（金） / 17日（土）
午前10：00～午後5：00

販売対象商品：

朝生菓子（おはぎ・蒸し羊羹・うぐいす餅・赤飯等）

上生菓子（生菓子） 干菓子 （各種詰め合わせ）

棹物 （抹茶しぐれ巻き・各種羊羹）

焼物 （金柑饅頭）

しるこ （ちとせ）



2月のセール製品を一部ご紹介します。

ちとせ（しるこ）



餅種の生地に小豆のさらしあんを、鳥帽子型に折り包みしました。お湯を注ぐとおしるこのできあがりです。



（5個入り）通常価格：1400円
→セール時は
900円/セット

（1個ばら売り）通常価格：280円 ↓
セール時は **180円/個**

立春の候 寒暖差が激しく、身体を適応させるのに苦労します。能登半島地震で被災された方々も大変でしょうね… 震災のあった滑川市の市長さんが、ボランティアで炊出しのねぎをもくもくを刻んで、特に名乗ったり挨拶もせずにと立ち去ったとの事で、その姿を見た人が新聞にそのことを投稿なさっていました。他にも偉い市長さん数人についても書いておられました。朝から心温まる話を読み、その日の寒さも感じませんでした。また後日、女性会の会長さんから、京都府作文コンテストの入賞作文集を見せてもらいました。社会を明るくする運動の一端をテーマにした、小学6年生から中学3年生の子どもさんたちの素直な作文です。その中で「道にうずくまっていた人に声をかけようとしたが、1人だと勇気もでないし、その問題に対応する知恵もない。でもその時に一緒にいた友達の知識をもとに声掛けし、実は熱中症で危なかったその人を救うことができた」という作文がありました。友達と話し合う。勇気がなくても声をかける。など、人と相談し話しあうことが、世の中を明るくする端緒にもなるのですね。そういう人と人とのやりとりが、犯罪や非行の予防にもなるのではとも思います。人から話しかけられると心が和みますのも。あたためて人とのつながりについて考える、良い機会をもらいました。



京菓子司 鍵長

京都市下京区烏丸五条二筋下る西入
☎351-3182 fax 343-0182

セールをご利用のお客様は、セール当日の 2月16日・17日に、
以下にご記入の上ご持参ください。

2024

今後のセールご案内の参考にさせていただきます。

お名前：

お電話：

ご住所： 〒

